

「きつと守り抜く」

犠牲になった人と、助かった人の間に
明確な理由や共通の法則などありはしない

南
三
陸
町

屋上の円陣

— 防災対策庁舎からの無言の教訓 —

東日本大震災被災当時、宮城県南三陸町の防災対策庁舎の
屋上で円陣を組み、必死に津波に耐えようとしている人たちがいた。
そこには、強い決意で女性、高齢者、若い職員たちを
円陣の内側に入れ、生死の瀬戸際でありながら、
最後まで人間の尊厳と誇りを失っていない姿があった…。

「その時、何が起こっていたのか」

今だからこそ明らかにできる著者渾身のノンフィクション



防災・危機管理アドバイザーとして

メディアにも多数出演!!

山村 武彦 / 著

番線印



南三陸町 屋上の円陣
— 防災対策庁舎からの無言の教訓 —

2017年7月発刊・四六判・216頁・本体1,800円

〈条件:返品条件付〉 978-4-324-10364-7 C0030 5108353

担当者名

部



〒136-8575 東京都江東区新木場1-18-11
マーケティング推進部 書店営業チーム TEL 03-6892-6570

FAX 03-6892-6925